

青葉会会報

2015 年度版



東北大学学友会 オリエンテーリング部

目次

事務局よりご挨拶.....	2
2015年度執行部の紹介.....	3
2014年度東北大学学友会オリエンテーリング部の記録....	4
男子リレーコメント.....	8
女子リレーコメント.....	9
JWOC2015 報告書.....	10
平成 26 年度 青葉会会計決算報告.....	13
東北大 OLC40 周年記念誌について.....	14
東北大大会・青葉会総会のお知らせ.....	15
Facebook について.....	17
寄付金のお願い.....	17
事務局の連絡先.....	18

事務局よりご挨拶

事務局 鎗山純 (11 年入学)
会計 山崎健太郎 (11 年入学)
広報 和田康佑 (11 年入学)
井鍋寛伸 (11 年入学)

拝啓

盛夏のみぎり、青葉会の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。今年度の青葉会は上記の通り、事務局—鎗山、会計—山崎、広報—和田・井鍋が運営しております。

まず、はじめに昨年度のことを振り返ってみようと思います。昨年度のインカレロングは福井県あわら市で開催され、また同時にインカレスプリント試行大会も行われました。結果の方ですが、残念ながら選手権クラスでは入賞者は出ませんでした。

インカレミドル・リレーは愛知県新城市で行われました。東北大からはミドル選手権クラスでは宮西優太郎 (12 年入学・当時 3 年) が 2 位入賞を果たしました。リレーでは男子選手権クラスが 3 位入賞となり、女子選手権クラスは 12 位という結果となりました。山川杯は、残念ながら今年も金沢大学に一枚差で敗れ、奪還とはなりませんでした。今年度は雪辱を晴らしてほしいと思います。

今年度の東北大 OLC には 24 人が入部しました。今年も多くの新入生が入部し、ますます部が発展することは喜ばしいことだと思います。大会会場などで大人数の集団を見かけましたら、ぜひ声をおかけください。

また、今年度は JWOC に小林 隆嗣 (13 年入学) が出場しました。結果はスプリントでは日本人最高位である 78 位となりました。

さて、今年度の東北大学オリエンテーリング大会は 10 月 18 日にニューテレインである青笹山で開催されます。3 年生を中心に、熱心に準備が進められているようです。また 4 年生が企画している前日大会も開催予定とのこと。両日ともぜひご参加くださいますよう、運営者に代わりましてお願い申し上げます。

末筆ながら青葉会の皆様のご健康とご発展をお祈りしてご挨拶と代えさせていただきます。

敬具

2015 年 7 月 鎗山純

2015 年度執行部の紹介

主将：橋本 正毅 (3年)

副将：佐藤 俊太郎 (2年)

主務：橋本 航汰 (3年)

副務：赤井 章吾 (2年)

会計：長谷川 真子 (2年)

会計監査：柴山 享祐 (2年)

以上 6 名で 2015 年度執行部を務めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

橋本 正毅 (13 年入学)

2015 年度主将を務めさせていただきます、3 年橋本正毅と申します。どうぞよろしくお願い致します。

昨年度のインカレリレーにおいて東北大学は男子選手権クラス 3 位、女子選手権クラス 12 位という結果でした。男子に関しては、2013 年度の 12 位から再び入賞に戻ってこれ、ひとまずよかったという感じですが、個人的には昨年度 1 年間東北大学の選手権リレー優勝を目指してきたので東京大学・京都大学に敗れたのは大変悔しく、総合的な実力差を感じてしまいました。また、選手権リレーを走られた 2 名の先輩は当時 4 年生ということで卒業されてしまい、今年度も優勝に向けて厳しい戦いが予想されます。女子に関しては入賞に大きく届かず、実力不足を見せつけられる結果となってしまいました。また、ミドルとリレーを通じたメダルの枚数を競う山川杯は 1 枚差で金沢大に再び持っていかれてしまいました。悔しさの多い昨年度の春インカレでしたが、男子一般リレー新人特別賞 4 年連続獲得など次につながる明るい結果をありました。

さて、今年度の目標ですが、引き続き「団体戦優勝」「山川杯奪還」を目指していきます。男子は頼れる先輩方やアドバイザー、切磋琢磨し合いやる気だけでなく実力もついてきた同期、成長が楽しみな後輩と共に他大を上回る力をつけるべく努力していきます。女子は、新しい女子コーチのもと総合的な実力を上げていきます。東北大だけでなく北東学連の他大女子とも競いながら全体的なレベルアップを目指します。

新人は今年 24 名入りました。幸い、やる気をもった新人ばかりです。彼らの成長に山川杯がかかっているといっても過言ではないでしょう。アドバイザーやほかの現役部員の力を借り、練習の場は例年以上にたくさん用意するつもりです。所掌として新人をはじめとする全部員のやる気を刺激し続けたいとおもっております。

最後になりましたが、先輩方の日々の御支援に対して、この場で感謝申し上げます。本年度も御支援、御厚情を賜りますようお願い申し上げます。結びと代えさせていただきます。

2014 年度東北大学学友会オリエンテーリング部の記録

福井インカレロング 2014

2014 年 10 月 12 日

選手権クラス

ME	8.6km ↑ 530m			WE	5.9km ↑ 300m		
1	松下 睦生	1:16:24	京都大学 4	1	稲毛日菜子	1:01:55	お茶の水女子大学 4
2	糸賀 翔大	1:20:48	東京大学 4	2	宮川 早穂	1:08:13	立教大学 3
3	深田 恒	1:22:03	東京大学 3	3	伊東瑠実子	1:18:24	東京大学 3
4	福井 悠太	1:23:29	東京大学 3	4	五味 あずさ	1:28:58	金沢大学 3
5	尾崎 弘和	1:25:26	早稲田大学 4	5	増田 七彩	1:34:51	東京大学 2
6	嶋岡 雅浩	1:25:53	名古屋大学 4	6	宮田 優花	1:35:26	筑波大学 2
7	宮西優太郎	1:29:55	東北大学 3	24	本間 実季	1:57:50	東北大学 2
18	佐藤雄太郎	1:39:18	東北大学 3	28	葭葉 歩未	2:09:45	東北大学 3
20	杉村 俊輔	1:40:09	東北大学 4				
23	滝川 真弘	1:43:06	東北大学 2				
30	橋本 正毅	1:45:55	東北大学 2				
33	大川 拓哉	1:49:46	東北大学 2				
36	小松 栄輝	1:53:05	東北大学 2				
44	半沢 守	2:01:28	東北大学 2				
	原田 龍馬	DISQ	東北大学 3				
	西本昌史	DISQ	東北大学 4				

一般クラス(入賞者)

MUL2	4.3km ↑ 255m			MUF2	4.1km ↑ 120m		
3	藤橋 涼	0:51:38	東北大学 3	1	堀江 優貴	0:32:43	東北大学 1
MUL4	4.2km ↑ 250m			MUF3	4km ↑ 120m		
3	照井 雄大	0:49:42	東北大学 2	2	柴山 享佑	0:34:39	東北大学 1
MUS	3.2km ↑ 90m			WUF	2.2km ↑ 30m		
1	乳井 草太	0:30:37	東北大学 3	5	平野 伶奈	0:19:52	東北大学 1

MUF1 4km ↑ 125m

1 小林 隆嗣 0:31:32 東北大学 1

愛知インカレミドル 2015

2015年3月7日

選手権クラス**MEA 5km ↑ 225m**

1 松下 睦生 0:37:32 京都大学

2 宮西 優太郎 0:39:14 東北大学

3 糸賀翔大 0:39:15 東京大学

4 尾崎 弘和 0:39:33 早稲田大学

5 福井 悠太 0:39:58 東京大学

6 糸井川 壮大 0:40:20 京都大学

WEA 4.1km ↑ 155m

1 稲毛日菜子 0:33:57 お茶の水女子大学

2 守屋舞香 0:37:04 椋山女学園大学

3 宮川 早穂 0:39:31 立教大学

4 松田 沙也加 0:42:23 岩手大学

5 阿部ちひろ 0:44:09 大阪大学

6 星 美沙 0:44:19 椋山女学園大学

15 杉村 俊輔 0:42:12 東北大学

16 西本昌史 0:42:24 東北大学

23 照井雄大 0:43:41 東北大学

28 滝川 真弘 0:45:36 東北大学

35 清水 敬太 0:47:10 東北大学

40 藤橋涼 0:48:34 東北大学

42 阿部稜 0:49:01 東北大学

44 大川 拓哉 0:49:55 東北大学

16 本間 実季 0:53:59 東北大学

一般クラス(入賞者)**MUB 1.4km ↑ 65m**

2 伊藤雅哉 0:12:34 東北大学

WUF 1.4km ↑ 65m

2 長谷川真子 0:13:51 東北大学

ME

1	東京大学	深田 恒	福井 悠太	糸賀翔大
	2:35:52 (1)	bqx 0:54:31 1 3男 0:54:31 3	cry 0:52:05 1 3男 1:46:36 1	apz 0:49:16 1 4男 2:35:52 1
2	京都大学	安中勇大	糸井川 壮大	松下睦生
	2:38:12 (4)	apx 0:54:46 2 4男 0:54:46 4	bqy 0:52:03 1 3男 1:46:49 2	crz 0:51:23 1 4男 2:38:12 2
3	東北大学	西本 昌史	杉村 俊輔	宮西優太郎
	2:41:14 (12)	bqy 0:54:53 2 4男 0:54:53 5	crz 0:53:53 2 4男 1:48:46 4	apx 0:52:28 1 3男 2:41:14 3
4	新潟大学	佐藤 颯汰	村田 祐貴	山本 遼平
	2:45:40 (8)	cqz 0:53:48 1 4男 0:53:48 1	arx 0:53:39 1 4男 1:47:27 3	bpy 0:58:13 2 4男 2:45:40 4
5	金沢大学	大竹 達也	島倉 侑志	松澤 卓也
	2:46:38 (7)	bpy 0:56:37 1 2男 0:56:37 10	cqz 0:56:07 2 3男 1:52:44 6	arx 0:53:54 2 4男 2:46:38 5
6	早稲田大学	藤村陸	澤口 弘樹	尾崎弘和
	2:47:13 (3)	bqz 0:59:16 1 4男 0:59:16 15	crx 0:55:42 2 2男 1:54:58 7	apy 0:52:15 1 4男 2:47:13 6

WE

1	椋山女学園大学	星美沙			伊東佑子			守屋舞香										
	2:18:33 (53)	ay	0:48:43	2	4 女	0:48:43	1	bz	0:48:25	2	3 女	1:37:08	1	cx	0:41:25	1	3 女	2:18:33
2	立教・武蔵野混成	田中 圭			宮川 早穂			松島 彩夏										
	2:25:49 (91)	ay	0:50:52	3	2 女	0:50:52	2	bz	0:46:49	1	3 女	1:37:41	2	cx	0:48:08	2	2 女	2:25:49
3	金沢大学	木村 史依			山梨 栞			五味 あずさ										
	2:27:53 (54)	by	0:52:40	1	2 女	0:52:40	3	cz	0:49:05	2	3 女	1:41:45	3	ax	0:46:08	1	3 女	2:27:53
4	早稲田大学	山田陽子			中村 茉菜			渡邊彩子										
	2:42:18 (57)	cx	0:54:13	3	4 女	0:54:13	8	ay	0:52:34	4	2 女	1:46:47	4	bz	0:55:31	4	4 女	2:42:18
5	京都女子大学	大井綾			前之園知江			野島貴子										
	2:46:25 (60)	ax	0:52:54	2	4 女	0:52:54	4	by	1:05:33	4	4 女	1:58:27	10	cz	0:47:58	1	4 女	2:46:25
6	宮城学院女子大学	針生佳奈			菊地健美			齋藤菜津美										
	2:46:39 (56)	bz	0:55:59	5	2 女	0:55:59	11	cx	0:57:29	5	3 女	1:53:28	6	ay	0:53:11	5	4 女	2:46:39
12	東北大学	葭葉歩未			新井 梨子			本間 実季										
	3:15:58 (55)	ax	1:04:13	7	3 女	1:04:13	19	by	1:17:50	8	2 女	2:22:03	18	cz	0:53:55	3	2 女	3:15:58

一般クラス(入賞チーム)

MUR

2	東北大学 MA	佐藤雄太郎			橋本 正毅			滝川 真弘										
	1:32:33 (105)	mb	0:29:02	1	3 男	0:29:02	1	mc	0:34:54	27	2 男	1:03:56	4	ma	0:28:37	2	2 男	1:32:33

XUR

3	東北大学 WA	大川 拓哉			平野 伶奈			小松 栄輝										
	0:54:05 (404)	wa	0:15:02	1	2 男	0:15:02	1	wb	0:22:27	9	1 女	0:37:29	1	wc	0:16:36	1	2 男	0:54:05

男子リレーコメント

杉村 俊輔(2011 年度入学)

2014 年度インカレリレーにおいて男子選手権 2 走を務めました、杉村俊輔と申します。昨年度は 3 位となり 2 年ぶりに入賞を果たすことができましたが、目標にしていた優勝には届きませんでした。

昨年度は一昨年度の 12 位という結果を受け、本当の意味でゼロからのスタートとなりました。主将の藤橋(2012 年入学)を中心とし、立候補メンバーでの話し合いやトレーニングを 4 月から毎月行なってきました。チーム内の競争意識を高めあうことができ、メンバーの選考も最後の最後まで分からないような状況でした。インカレロング以降の実績、春合宿の選考レースの結果、トレーニング量、最近の調子等を総合的に考慮し選考を行なった結果、西本(2011 年入学) - 杉村 - 宮西(2012 年入学)の 3 人で挑むこととなりました。

インカレ本番は、西本が先頭から約 1 分差の 5 位、ターゲットとなる東京大学、京都大学と同じ集団で帰還しましたが、2 走の私が終盤にこの 2 大学に離されてしまい、1 位から約 2 分差で 3 走の宮西にチェンジオーバーしました。宮西は新潟大学を抜き 3 位となりましたが、優勝には届きませんでした。

一昨年度に引き続き優勝を逃すこととなりましたが、一昨年度とは異なり、昨年度は 3 人とも実力を出し切ることができました。それゆえに東京大学や京都大学に力の差を見せつけられることとなりました。やはり、優勝するためには「個」の力の向上が欠かせません。2 年ぶりの入賞にただ満足するのではなく、この力の差を埋めるために何が必要なのか、優勝するためには何をすべきかを今年度の立候補メンバーにはよく考えてほしいと思います。私も、今年度アドバイザーを務めることとなりましたので、立候補メンバーが速くなるためのサポートをしていこうと思います。

最後になりましたが、一緒に戦ってくれた選手権のメンバー、一緒に走ってくれた西本と宮西、サポートして下さった菅野さん、関さんを中心とするアドバイザーの方々、応援して下さった部員や OB・OG の皆様、ありがとうございました。

女子リレーコメント

葭葉 歩未

梅雨に入り、じめじめとした暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は今、希望していた有機合成の研究室に配属となり、毎日朝から晩まで楽しく実験しております。昨年の学生実験では、18時を過ぎても実験していると怒られましたが、そんなことはもうありません。最高ですね！嘘です。本当はもうちょっと早く帰りたいです。

2014年はたくさんの人に助けられた年でした。昨年のリレーは私にとって初めての選手権リレーでした。1,2年生のときは自由気ままに走れていましたが、選手権ではそうはいきませんでした。どうしても周りの目が気になってしまいました。自分がこうしたい、と思っていることと、周りが思っていることが違うんじゃないかと、部室へいったら何か責められるんじゃないかと、常にびくびくしていました。選手権で走りたいという気持ちがある一方で、もう部活なんか行きたくないという気持ちもあり、悩んでばかりで行動に移せないということも多々ありました。こんな状態でも私がモチベーションを保てたのは、一緒にリレーに向けて頑張ってきた後輩や、アドバイザーの一樹さん、部員のみんな、離れても気にかけてくださった先輩方がいたからでした。

特に女子の後輩たちからはたくさん力をもらいました。女子トレの運営や後輩のお世話といったことだけではありません。それぞれが自分なりに頑張っている姿が私に力をくれました。運動が苦手だけど毎週朝ランに参加してくれる子（入部当初は河原1周を走り切れませんでした。11月ごろには川内から台原まで走れるようになっていました）や、自分から金博に走りに行く子、忙しいバイトの合間をぬって夜にトレをする子など…みんなの頑張っている姿を見て、私も頑張ろうと思えたとし、その子たちの努力が結果に結びついたときは本当にうれしくて涙がでそうでした。

一緒にトレに参加してくれた後輩や、見守ってくれた先輩方、応援してくれた同期など部員みんなの支えがあってこの1年間頑張ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。とても楽しい1年間でした。

今年は新生女子が4人も入部し、昨年よりもさらににぎやかになりました。リレーのメンバー選考にも幅がでて、うれしく思っています。女子のまとめ役は3年生2人に引継ぎましたが、時間の許す限り練習に参加し、後輩たちの支えとなれるように努力したいと思います。

JWOC2015 報告書

2014 年度入学 2 年 小林隆嗣

2015 年 7 月にノルウェーの Rauland で開かれました JWOC2015 に日本代表として出場しました小林隆嗣と申します。簡単にですが報告をさせていただきます。

1. セレクションまで

自分が初めて JWOC に興味を持ったのは、ちょうど一年前の 7 月、霧ヶ峰ロゲイニングの配車で二つ上の宮西さん（2012 年度入学）に WOC2014 の生中継を見せてもらった時でした。宮西さんは過去に JWOC 出場経験があり、その時の経験を語ってくれました。自分も海外のトレインを走りたいという思いがわいてきたのを覚えています。

インカレミドルが終わり、全日本大会や JWOC セレの時期となると、真剣に JWOC に日本代表として出ること考え始めました。この年の JWOC のセレクションは全日本大会（千恵子の里）20E で上位 1 人、JWOC セレ（勢子辻）で上位 2 人、残りは推薦 3 人で、自分のオリエンテーリングを考えると勢子辻で上位 2 人となるより、全日本大会で優勝する方が確実であると考え、トレインである千恵子の里を徹底的に分析しました。分析の成果が実り、無事、全日本大会 20E で優勝できました。

2. 渡航まで

JWOC2015 男子出場メンバーは自分以外、中高からのオリエンテーリング経験者でした。JWOC 前の国内合宿では自分の正置や直進といった基礎技術のレベルの低さを思い知らされました。それからはいかに自分の基礎技術をレベルアップさせるかと、普段のトレインとは異なる特徴を持ったトレインにいかに対応していくかに重点を置いて日々トレーニングしていきました。

3. 渡航から本戦まで

ノルウェーに到着したその日から、オスロで開催されていた O-festivalen という大会に参加しました。この大会はノルウェー最大の大会で、3 日間でスプリント、ミドル、ロングを行うことのできる大会でした。参加の狙いとしては、本場ノルウェーの雰囲気慣れることと、ノルウェートレインでの課題を認識することでした。自分の感想としては、スプリントはある程度戦える、ミドルは地図表記（地形が日本と比べ非常に複雑なため、すべてを地図に表現するわけではなく、特徴的なもののみを誇張して表現される）に対応できないとアタックが非常に難しい、ロングはコース次第である程度戦えるという印象を持ちました。

本戦直前の 6 日間はトレーニングキャンプとして本戦に似ているトレインに入り、トレインや地図表記の日本と違う点を確認し、スピードを出せるナビゲーションを行うためにはどうすればいいかを考えていきました。特に Rauland は走れる湿地が多く、湿地が道と

同じくらいルートチョイスにおいて重要でした。

4.JWOC 本戦

(1)結果・スプリント決勝 78 位/154 人 ・ミドル予選 46 位/53 人 ・ミドル C 決勝 24 位/37 人

・ロング決勝 138 位/157 人 ・リレー決勝 稲森-小林-平原 36 位/56 チーム 2 走 35 位

(2)スプリント O-festivalen の結果や事前に調べていたスプリント会場の街の雰囲気から、海外選手と同じ土俵で戦えると思い、スプリントにはロングの次に力を入れていました。

調整がうまくいき、大会のプレッシャーにほとんど影響されずに走ることが出来ました。レース内容としてはルートチョイスにおけるミスは何度もしましたが、ナビゲーションのミスをせずにスピードにのって走ることが出来ました。後半で体力的につらくなり、読図が疎かになったのが悔しいですが、結果はスプリントにおける日本人男子最高順位となりました。

(3)ミドル ノルウェーのトレインと地図に完全には適応できていないことは意識できていたため、わかる特徴物を一つ一つ繋いでいくことで、不安をなくしスピードを保つオリエンテーリングをすることにしました。

予選は、前半は集中することでミスなくまわれたが、最終盤の 13、14 ポで集中が途切れショート。5 分程度のミスをし、途中まで 35 位付近でしたが、46 位まで順位を落としてゴールという結果になりました。

ミドル C 決勝は、ロングに向けてもう一度、自分にできることとできないことの確認の場にしようということで、かなり挑戦的なルート取りをしました。その分ミスをしましたが、ロングに向けていい修正になりました。

(4)ロング ロングは今回の大会で一番力を入れたいと思っていました。

レースは 11、13 ポで大きなミスをしてしまい、悔しい結果になってしまいましたが、全力を出し切ることが出来たので満足なレースでした。

(5)リレー ロングのスタート前にリレーのことは何も考えずに全力で走ってこいと言われていたので、正直リレーの準備はほとんどしていない状態でリレーに臨みました。

一走稲森が集団から少し遅れてきたため、ほぼ一人旅状態でスタートしました。途中でブラジルの選手とうまくチェイシングできたため、無難な感じで回ることが出来ました。

5.JWOC を終えて

今回の JWOC はロングのミスは悔しいですがどのレースも自分の持てる力を最大限出し

切った結果だと思うので満足しています。しかし、海外のトップ選手と比べると自分の持てる力はまだまだ及ばないと感じました。これからも自分のオリエンテーリングを成長させていきたいと思います。

自分にとっての JWOC はこれが最初で最後となってしまいますが、これからも JWOCer たちの挑戦は続いています。今後も東北大から多くの後輩たちが JWOC を目指し、世界に羽ばたいてほしいと思います。また、自分も JWOC の元日本代表として後輩たちに今回の経験を伝えていきたいと思います。

最後に、両親をはじめ、部員の皆さんや JWOC 合宿運営の方々などからたくさんのご支援や応援をいただきました。心から感謝しています。ありがとうございました。

平成 26 年度 青葉会会計決算

収入

	金額
前年度繰越金	¥122,746
会員寄付金	¥89,000
合計	¥211,746

支出

青葉会報関係費(注)	¥13,249
インカレロング広告代	¥32,216
インカレロング花束代	¥3,500
インカレミドル・リレー広告代	¥32,648
インカレミドル・リレー花束代	¥8,000
振込手数料	¥550
合計	¥90,163

(注)会報郵送費や封筒代など

→次年度繰越金 ¥121,583

以上、相違のないことを誓います。

平成 26 年度青葉会会計 橋本英明

東北大 OLC40 周年記念誌について

文責： 南條 広記

東北大 OLC40 周年記念誌の作成を担当させて頂いております南條です。記念誌の現状と今後について、ご報告させていただきます。

昨年度より発行を延期させて頂いておりましたが、誠に勝手ながら記念誌の発行は見送らせて頂き、記念ホームページのみ作成させて頂こうと考えております。原稿の執筆をお願いする予定だった先輩方の連絡先の調査に時間がかかってしまい、お金を使って発行するに十分な内容を確保出来ないと判断しました。長きに渡りお時間を頂いておきながら、本当に申し訳ありません。これほど時間がかかってしまったのは全て私の不手際によるものであり、猛省しております。今後も先輩方の連絡先の調査は続けさせて頂く予定です。発行のためにお寄せ頂いた寄付金につきましては、青葉会会費と区別しない形で頂いており判別出来ないため、大変申し訳ありませんが会費に充てさせて頂きたいと思っております。現在は、今年度中の記念ホームページの完成に向けて努力させて頂いている次第です。

質問やご意見等ございましたら、私まで(hirokinanjosnknst@gmail.com)ご連絡下さい。記念ホームページへのご意見もお待ちしております。

最後に、このような事態を招いてしまったことに関しまして、重ねてお詫び申し上げます。本当に、申し訳ございませんでした。

東北大大会・青葉会総会のお知らせ

鎗山純

この場をお借りして、東北大大会と青葉会総会のお知らせをさせていただきます。

◇ 東北大学大会（テレイン：青笹山）

開催日：10月18日(日)

今年の東北大大会はニューテレインである青笹山で行われます。競技形式はミドルレースとのことです。三年生が一生懸命準備をしているため、皆様ぜひご参加ください。

東北大大会 HP

<http://www.olc.org.tohoku.ac.jp/taikaiHP/38th.olc.org.tohoku.ac.jp/>

◇ 青葉会総会・飲み会（テレイン：国分町（予定））

開催日：10月17日(土)

例年と同様に、東北大学大会の前日に青葉会総会&飲み会を行います。時間は19時ころ開始を予定していますが、前日イベントのスケジュール次第では遅くなる可能性があります。

今年度の東北大大会が仙台近郊で開催されることもあり、移動も楽であろう国分町で行うことにしました。遠方から参加される方には厳しいかもしれませんが、多数の方にご参加いただければ幸いです。参加申し込みは下記アドレスに電子メールでお願い致します。

総会は飲み会の始めに行う予定ですが、取り上げてほしい議題などございましたら、参加申し込みのメールにその内容も記載ください。議題の数が多い場合には、飲み会とは別の会場で青葉総会を行う場合があります。その場合は事前にこちらからメールで連絡を差し上げるなどの対応をとらせていただきますのでご了承ください。

飲み会のお店は参加人数によって決めますが、予算は4000円前後の予定です。参加費は当日回収させていただきます。青葉会の先輩や後輩、同期と会える滅多にない機会です。皆様の参加を心よりお待ちしております。

詳細が決まりましたら連絡いただいたメールアドレスにご連絡申し上げます。よろしくお願ひ致します。

青葉会総会・飲み会参加申し込み先

: 事務局長 鎗山 純 (11年入学)

E-mail

: orien.aoba36kai@gmail.com

携帯 (急ぎの場合)

: 080-4725-9420

申込締切 9月18日(金)

Facebook について

今年度も昨年度と同様に、Facebook の青葉会グループの管理および更新を行っています。Facebook アカウントをお持ちでまだ参加されていない OB・OG の方に関しましては、私どもが気付き次第招待させて頂いておりますが、大変申し訳ないことに把握しきれない場合がございます。その場合は、青葉会のページを表示して頂き、右上にある「グループに参加」をクリックして頂ければ順次承認致しますので、是非ご参加下さい。

昨年度に引き続き、部内でのイベントや大会の様子をお伝えしていく予定ですので、お時間がございましたらご覧になって頂ければと思います。

Facebook の青葉会グループのアドレスは以下になります。アカウントをお持ちの方は是非一度ご高覧下さい。

<https://www.facebook.com/groups/390878427647940/>

寄付金のお願い

青葉会運営資金は、東北大学オリエンテーリング部 OB・OG の皆様の寄付によって賄われております。インカレの広告費や入賞者への花束代などはこの運営資金から捻出されています。

青葉会として、現役生への期待を込めて、できるだけの援助ができればと考えております。誠に恐縮ではございますが、寄付をよろしくお願い致します。一口1000円です。

寄付は郵便振替でお願いします。

加入者名：「青葉会」 口座番号：02280-8-4697

通信欄に住所、氏名、電話番号、E-mail アドレスをご記入下さい。

郵便振込みではなく、銀行振り込みなどをご希望の方については個別に対応させて頂きますので事務局までご連絡ください。

事務局の連絡先

青葉会総会への参加申し込みや、その他ささいなことでもご意見、ご要望などございましたら下記の事務局までご連絡ください。

また、住所変更や、パソコンのメールアドレスを変更した場合なども、お手数ですが下記アドレスまでご連絡ください。

青葉会問い合わせ先：事務局長 鎗山 純 (11年入学)
〒980-0871 宮城県仙台市青葉区八幡 2-15-12 菅正ビル 201号室
E-mail : orien.aoba36kai@gmail.com
携帯 (急ぎの場合) : 080-4725-9420

2015年度版青葉会会報

2015年7月発行

発行責任者：鎗山純